

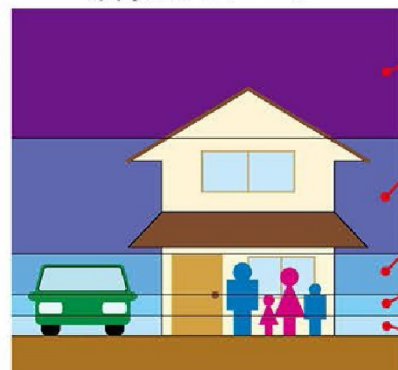
災害から身の安全を確保するのは“自分ごと”

- 1** お住まい、あるいはお勤めの地区の洪水による浸水の危険性を確認しましょう。
 - 浸水深2mでは1階は水没し、おぼれます。浸水深30cmで車は動かなくなります。
 - 浸水深が50cmでも流れがあると、徒歩での避難は不可能です。
- 2** 避難する場所や方法を、家族や事業所ごとに相談して確認しておきましょう。
 - 3階以上の高層住宅にお住まいの場合は浸水しない上層階への待避も考えられます。
 - 中小河川や用水路も増水している場合は危険です。
- 3** 避難する判断は地区によって異なりますので、入手すべき情報を確認しておきましょう。
 - 避難勧告等を待っていると逃げ遅れる場合もありますので、自主的避難を心がけましょう。
 - 近くのお年寄りなど自らの避難が困難な方には、地域での配慮が必要です。

最大水深

5.0m以上
3.0～5.0m
2.0～3.0m
1.0～2.0m
0.5～1.0m
0.2～0.5m
0.2m未満

浸水のイメージ



深 さ

5m～	3階以上が水没
2m～5m	2階部分が水没
1m～2m	1階部分が水没
50cm～1m	避難が困難となる
～50cm	床下が浸水



1分以内
3分以内
5分以内

ため池が決壊してから
水が到達するまでの時間

この「ため池ハザードマップ」には、市内にある農業用ため池が大雨や地震等によりため池の堤体が決壊した場合、ため池下流の被害の範囲や浸水深、到達時間を示しています。

0 50 100 150 200 m